



ロワイヤルモンソーの正面玄関。ゲストはアールヌーボーの小粋なエントランスで凛とした制服のドアマンに迎えられる



無数のクリスタルの小片が天井からキラキラと輝くエントランスホール



「ヨーロッパ Best Breakfast」の賞を獲得した「La Cuisine」の店内



筆者 小原 康裕

ホテルジャーナリスト
慶応義塾大学法学部法律学科卒。
74年 Munich Re 入社。85年築地
原健園代表取締役。2001年投資顧
問会社原健設立、代表取締役 CEO。
JHRCA、日本ホテルレストランコン
サルタント協会理事。
www.jhrca.com/worldhotel
現在、筆者のホームページで「世界
のリーディングホテル」を連載中。
多くの美しい写真と興味深いコメン
トで、世界中のホテルとそれら関連
都市を紹介。

ルロワイヤルモンソー —ラッフルズパリ Le Royal Monceau — Raffles Paris

www.jhrca.com/worldhotel?cat42

世界にはまだまだ日本人が訪れていないホテルがある。このコーナーではホテルエが知っておくべき「世界のリーディングホテル」を紹介する。これまで多くのホテル紹介本が出版されてきたが、そのほとんどが現地のホテルと事前に取材の連絡を取り合い、プロのカメラマンや通訳、そのほか大勢を連れ立っての大名取材であり、宿泊は省略といったことも多々であった。本連載では、著者自身が長年にわたる個人旅行中に自分の目で感じ取り、コメントを書き込み、自分のカメラで思いのままを撮ってきた写真を掲載する。

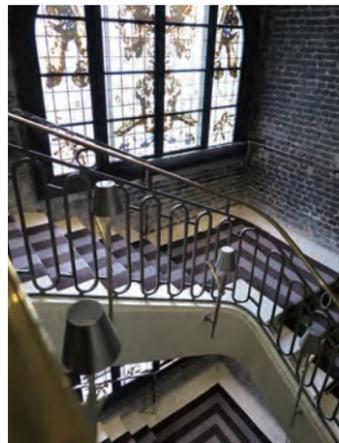
※本連載は毎月2・4週号掲載



「Le Royal Monceau - Raffles Paris」は凱旋門を間近に望む高級住宅街のアヴェニュー・オシュに立地し、日本国大使館も程近い最高のロケーションを誇る



シシリー・バロックの美しい店内のミシュラン1ツ星イタリアン「Il Carpaccio」
現代的ステンドグラスと紫の濃淡が冴える絨毯が美しいステアケース



レセプションの横にはパリのエスプリが感じられる書店を置いてある



白のリネンカーテンがアクセントのバーラウンジ「Le Bar Long」



スパ施設「Spa My Blend by Clarins」のレセプションデスク



スパ施設内にあるゴージャスな23mのインフィニティプール



約60㎡の広さを持つ「Junior Suite」のエLEGANTな室内。2013年6月にはGeorge V Parisに続いてパリで6番目となる「PALACE」の称号認定を受けた



コージーな感覚のベッドルームコーナー

窓からは凱旋門に続く美しいアヴェニュー・オシュ通りを望める

1928年の開業以来パリで伝説のホテル、ロワイヤルモンソーが2年の改装工事の後2010年にフルリニューアルオープン。新たに Raffles Hotels & Resorts 傘下に加わり「Le Royal Monceau - Raffles Paris」に生まれ変わった。1920年代から30年代までの雰囲気そのままだに、全館内装および家具は著名デザイナーのフィリップ・スタルクが手掛け、パリ屈指のブティックホテルとしてよみがえった。ホテル館内には極めて珍しい自前の99座席のシアターを持ち、レセプション横にはパリのエスプリが感じられる書店、さらにコンテンポラリーアートの展覧会が開催されるギャラリーなども併設されている。

ロワイヤルモンソーは凱旋門を間近に望む高級住宅街のアヴェニュー・オシュに立地し、日本国大使館も程近い最高のロケーションを誇る。2013年6月にはGeorge V Parisに続いてパリで6番目となる「PALACE」の称号認定を受け、栄誉あるパラスホテルグループの仲間入りを果たした。ホテルは、ユニーク、そしてエレガントなスタイルに、洗練されたパリの“粋”を表現している。さらに、室内を真っ赤に彩色した喫煙室など、遊び心満載のインテリアにその芸術的センスがフルに発揮され、1920年代後半“パリ狂乱の時代”の雰囲気が巧みに再現されている。

ロワイヤルモンソーは多彩なスイートを含む全149室の理想的な客室構成だ。ゲストはアールヌーボーの小粋な正面玄関で凛とした制服のドアマンに迎えられる。筆者にアサインされた部屋は約60㎡の広さを持つ「Junior Suite」で、窓からは凱旋門に続く美しいオシュ通りを望むエレガントなJr.スイートだ。レストランは、実にミシュランの星を獲得した2つのダイニングを持つ。“ヨーロッパ Best Breakfast”の賞を獲得した「La Cuisine」、シシリー・バロックの美しい店内のイタリアン「Il Carpaccio」の2店で、クオリティーは非常に高い。また、白のリネンカーテンがアクセントのバーラウンジ「Le Bar Long」では軽食も楽しめる。スパ施設「Spa My Blend by Clarins」は、ハマムやインフィニティプールなど人気が高い。

ロワイヤルモンソーの持ち味は、エスプリの効いた“粋”である。この小気味よいホテルのアンビエンスや質感はほかのホテルの追従を許さない。近年、パリで国際会議が多く開催され、日本の安倍首相はその都度ここに宿泊しており彼の定宿になった感がある。また、今年3月に松久信幸氏のレストラン「Matsuhisa Paris」がフランス1号店としてオープンし、食の充実度には目を見張るものがある。

WORLD'S PRESTIGE HOTELS
世界の名門ホテルから厳選
小原康裕 渾身の写真集 第二弾

小原 康裕 渾身の写真集第二弾
WORLD'S PRESTIGE HOTELS
「世界の名門ホテル」
絶賛発売中
世界最高ランクのホテルの
美しい写真と解説にご期待ください。